

## ◆訪問医療マッサージを考える会つづば とは？

つづば市内での在宅における訪問医療マッサージの現状を少しでも改善させ、利用者やその家族に喜ばれるよう、市内のマッサージ師（鍼灸師も含む）有志で2015年に結成しました。（2015年12月現在、マッサージ師3名、鍼灸師2名所属）

### マッサージ師ってどんな仕事？

保険でのマッサージは、介護保険ではなく、健康保険（医療保険）での取り扱いです。医師の「同意書または診断書」を必要とし、筋麻痺や関節拘縮、関節の痛みなどの傷病名に対し、施術を行います。そのため、我々は現代医学の最低限の知識を習得しています（国家試験の対象範囲です）。

施術内容は、そのように指示された傷病名に対して計画されます。マッサージは、痛みの除去や血行改善、筋肉の緊張の軽減、関節周囲の硬さの軽減を目的に、押す・揉む・擦るなどの施術を行います。また、関節のこわばりや動きにくさには、運動法（ストレッチや関節可動域訓練のような施術）を適宜行うことで、解消・軽減の効果を求めます。

施術の時間は、疾患内容や同意書傷病名を考慮し、ご本人のお辛さによって異なりますが、おおよそ15～40分ほどで行われることが多いです。

手を当てる施術で患者様との距離が近いため、心理的にも打ち解けやすくなります。施術中、さまざまな会話をすることで、単なる世間話だけでなく、心の負担になっていることを話されることもしばしばあります。心身ともにリラックスして頂ける職種と言えると思います。



発行：訪問医療マッサージを考える会つづば  
事務局：こぼり治療院  
（茨城県つづば市横町368-5）

### マッサージでできること③ ～症例を参考に～

【生活しやすくなりました】 S.Tさん（62歳）女性  
パーキンソン病で日常生活に支障が出ているTさん。腰が直角に近い位に曲がっていて、痛くて台所仕事を続けられません。歩行障害で思う様に体を動かさないこともあり、腰痛軽減と筋力維持を目的に、ケアマネジャーさんからご紹介を頂きました。

週2回、訪問し、腰から殿部、大腿などを中心に全体的に施術を行い、治療直後は腰をまっすぐ伸ばせるようになりました。曲がった体をまっすぐ伸ばせることが、とても気持ち良いと仰います。

猫背で緊張している頸肩にも施術をしますが、治療後は、頭や目もすっきりして、家事を行う気力が生まれるとのことで、とても喜んでもらっています。

### 鬼怒川水害避難者支援から学んだこと

避難所で、施術前に血圧が 241/134mmHg と計測された女性がいました。日中は、同居していた車椅子の義祖父の当座の居場所を探しに奔走されており、巡回する看護師の目に止まっていなかった方でした。当直の保健師に報告した上で、頭皮や手足の先など、体幹から遠位部を柔らかく刺激し、副交感神経を優位にさせるような施術を行ったところ、施術後は 158/91mmHg となりました。その後、保健師の見守りの対象に加わった模様です。

災害時は、施術そのものより、対象者の状態把握が大切だと学びました。巡回する保健師や他の医療者と情報共有し、複数の目で支援できる体制を取れるようにすることが大切で、その一つの機会作りとして我々の鍼灸マッサージという業が役立つようになって欲しいと思いました。

最後までお読み頂いてありがとうございます。  
当会や訪問医療マッサージについて、ご興味・ご関心をお持ち頂きましたら幸いです。